

公安委員会定例会議(第5回)の開催状況

第1 日 時 令和7年2月26日(水)
午後2時07分 ～ 午後4時53分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、警察学校長、情報通信部長
運転免許課長、公安課長、総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

- (1) 公安委員会定例会議の会議録
総務室から、令和7年第4回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。
- (2) 公安委員会に対する苦情の取扱要綱の制定
総務室から、公安委員会に対する苦情の取扱要綱の制定について伺いがあり了承した。
- (3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。
- (4) 愛媛県警察組織規則の一部改正
警務部から、愛媛県警察組織規則の一部改正について伺いがあり了承した。
- (5) 令和7年度組織別定数の策定
警務部から、令和7年度組織別定数の策定について伺いがあり了承した。
- (6) 公安委員会事務専決規程の改正
生活安全部から、公安委員会事務専決規程の改正について伺いがあり了承した。
- (7) 遊戯事務取扱要領の改正
生活安全部から、遊戯事務取扱要領の改正について伺いがあり了承した。
- (8) 愛媛県公安委員会規定の一部改正
交通部から、愛媛県公安委員会規定の一部改正について伺いがあり了承した。
- (9) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、18件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

- (1) 令和6年中の愛媛県警察運営目標推進結果

警務部長から、令和6年中の愛媛県警察運営目標推進結果について報告があった。

委員から、「ストーカーやDVなど、人身安全に関する事案は迅速な対応が重要である。引き続き警察本部と警察署が連携し、組織を挙げて被害者の保護に当たっていただきたい。また、特殊詐欺については、大規模な海外拠点の存在が報じられるなど、国際的な問題となっていることから、海外の捜査機関との情報共有、連携を深め、日本警察全体で対策に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「各部門とも総じて良好な成績を収めており、良い傾向にあると思われる一方で、刑法犯認知件数や交通事故死亡者数などが前年と比較して増加した。今年も必要な実態把握を推進するとともに、より高い目標を掲げて県民の安全・安心の確保に向け一層の努力を重ねていただきたい」との発言があった。

委員から、「重要犯罪、特に凶悪犯罪の検挙率が非常に高く、県警察の努力の成果だと思う。他方で気になったのが、子供、女性、高齢者など、弱者が被害者となる人身安全関連事案が過去最多を記録したことである。特殊詐欺など一部の犯罪はグローバル化する反面、人身安全関連事案は、家庭など狭い中で子供や女性が被害に遭うケースが多い。こうした弱い立場の人を守ることができる警察であってほしい」との発言があった。

(2) 令和6年中の警戒の空白を生じさせないための組織運営に係る取組状況

警務部長から、令和6年中の警戒の空白を生じさせないための組織運営に係る取組状況について報告があった。

委員から、「日勤制交番の拡大等により、限られた人員で最大限の力を発揮できるような組織運営に取り組んでいただきたい。また、闇バイトに関する相談については、県警察のどこの窓口で相談を受けても情報共有し、対応に齟齬が生じないように努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「働きやすい職場環境の整備に向け、職員からの提案制度の活用は重要である。例えば警察職員のサングラスの着用は、きちんと必要性を説明すれば県民からの理解を得ることができる。最近はウェルビーイングという取組が注目されており、心身の健康を守るために職場でいろいろな対策を講じて環境を整える動きが広がっていることから、県警察においても取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「闇バイトは、応募した人が被害者になる側面がある。警察には、闇バイトと知らずに応募した人が助けを求める場所を広報するなど、県民が犯罪組織の策略に陥り、闇バイトに手を染めることがないように対策を講じていただきたい。また、男性職員の育休取得率が向上するなど、ワークライフバランスの実現に向けた取組が進んでおり、評価したい。」との発言があった。

(3) 特殊詐欺(オレオレ詐欺)事件被疑者の逮捕～外国籍の受け子を検挙～

刑事部長から、特殊詐欺(オレオレ詐欺)事件被疑者の逮捕について報告があった。

委員から、「高齢者から大金をだまし取った悪質な事件である。突き上げ捜査を徹底し首魁被疑者の検挙に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「粘り強い努力で被疑者の検挙に至った捜査は見事である。最近では警察官などを語る手口が増えていると聞いている。やはり被害抑止には県民の特殊詐欺に対する警戒感が必要だと思われるため、広報啓発活動に力を入れて取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「日本の特殊詐欺被害は、ミャンマーなど海外拠点との関わりも指摘されている。犯行がグローバル化し捜査は困難を極めと思うが、元締めの大悪を検挙できるように頑張りたい」との発言があった。

(4) 人事案件

警務部から、人事案件について報告があった。

(5) 令和7年全国優秀警察職員表彰者の決定

警務部から、令和7年全国優秀警察職員表彰者の決定について報告があった。

(6) 損害賠償事案の知事専決処分

警務部から、損害賠償事案の知事専決処分について報告があった。

(7) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関して報告があった。

(8) 日勤制交番の運用拡大

生活安全部から、日勤制交番の運用拡大について報告があった。

(9) 第3回愛媛県警察警衛対策委員会の開催結果

警備部から、第3回愛媛県警察警衛対策委員会の開催結果について報告があった。

3 その他

なし。

以 上